

まず、ライフビジョンの点検から始まりです。家族間の良い関係のためには、どんなサービスや支援が必要かの見通しを立てます。

「地域生活支援システム」が見通せるシートづくりを行いました。そして、「ライフプランシート」を作成するのが、家族の将来を見通せるようにします。

参加者は、最初自分の事を話すのに抵抗があります。時間が経ち少しずつうちとけて、家族のことを話し出し和気あいあいとなりました。そして、他の人の話がきっかけになって今まで気づかなかったことにも、どのような解決があるかのヒントを見出す場面に出くわすことができ、ちよつと気分が落ち着きました。あらゆる種の共感を得ることができました。本研修会の意義を感じる人が多かった内容にする事が出来ました。



参加者自己紹介

## 平成28年度山形市知的障がい者相談員・支部会長合同研修会

東根市「東紅苑」で「障がい者福祉施策に関する理解を深める」をテーマに

①講演 ②ビデオ視聴 ③ワークショップ の3部構成で開催

第1日目 11月16日(水)

講演「山形県の障がい福祉施策について」

講師 大江敏宏氏（県健康福祉部障がい福祉課課長補佐）

まず、「障がい者の現状」を述べられ、療育手帳交付者は県内で8074名（平26年現在）おり、毎年増加していると紹介がありました。精神障害者保健福祉手帳交付者も増加しておりますが、身障者手帳交付者は逆に減少しています。

次に、平成28年度障がい者施策推進の5つの基本方針が示されました。第1番目の基本方針は、「障がいがある理由とする差別の解消の推進」です。その次には、「障害者差別解消について」ということで、共生社会の実現にとって、社会的障壁と合理的

配慮の理解の必要性を述べられました。

それに関連して、「山形県障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」の概要の紹介でした。

さらに、「障がいのある人もない人も共生する社会づくり推進事業」について紹介がありました。差別をなくすための普及啓発、障がい者就

労支援、障がい者スポーツの普及振興、障がい者芸術活動の推進といった内容です。

「障害保健福祉施策の動向」ビデオ視聴により、厚労省障害福祉課長の講演

障害福祉施策の歴史ということ、措置制度から支援費制度への変遷についてふれられました。

障害福祉サービス等予算は、この10年で2倍以上増加しています。1兆1560億円の額になっています。かつての「障害者自立支援法」から「障害者総合支援法」と改正し、その概要を述べられました。難病に関する対象疾病の見直し、重度訪問介護の見直し、強度行動障害の明確化、グループホームへの一元化などの紹介がなされました。



「県障がい福祉施策」の講演 大江敏宏氏



さらに、地域移行の推進に関する  
ことの目標が提示されました。  
障害福祉サービスの報酬改定に関  
する検討の進行状況の報告がありま  
した。  
就労支援において、工賃向上計画  
のあり方にもふれられました。

## 第2日目11月17日(木)

講演 「知的障がい者の疑似体験  
をしてみよう」

講師 知的障がい者理解啓発隊  
(花笠ほーぷ隊)

古澤薫氏・伊藤洋子氏・  
長谷川薫氏・山口由美子氏

知的障がいって、どんな困難があ  
るか、まずは体験。

ああ、なるほどこんなことで混乱  
していたんだ。無理なかわりをし  
ていたことを体験することができま  
した。

大人たちの勝手なかわり方が子  
ども達の生活に大なる迷惑だったと  
いうことに気付かされました。

といっ  
ても、深  
刻な研修  
ではあり  
ません。  
みんなで  
楽しく、  
自分たち  
の子ども  
の様子に  
関する誤  
解を理解  
しようと  
いうので  
す。



そのもくろみとしては、障がいの  
ある子の関係者よりも、一般の人た  
ちに対する理解啓発を推進しようと  
いう意図です。そのための機会を今  
後作っていくべく模索段階です。ぜ  
ひ、皆さまよりその推進に向けての  
ご協力をお願いします。

そこで、紹介するのが啓発隊メン  
バーからのメッセージです。

### 初陣飾った「花笠ほーぷ隊」 メンバーからのメッセージ

長谷川 薫

「とおちゃくん、鶴のおりがだ  
しゃねのが……」あまーい若い奥

さん役の隊員に嬉  
しそうに照れてい  
る、旦那さん役の  
方。会場は一気に  
アットホームな雰  
囲気につつまれ、  
相談員研修の参加  
者からは、「あっ  
はっはー」の笑い  
も出ていました。

11月7日、私たち  
「花笠ほーぷ隊」  
の初陣でした。隊  
の結成からわずか

4か月のことです。平成28年7月8  
日、「知的障がい疑似体験・理解啓  
発セミナー」兵庫県たつの市よりお  
迎えした「ぴーす&ピース」さんの  
講義を受けてから、関西独特のお笑  
いの世界観とおもしろさに、山形県  
でもやりたいという有志で結成しま  
した。デビューの日まで、隊の名前

を決め、役割、内容を内陸と庄内で  
メールでのやり取り、練習は3回だ  
け、肝っ玉母ちゃんたちの子ども  
のために「やるしかない！」という気  
持ちだけで臨みました。当日は、頭  
は真っ白、心臓バクバク、冷や汗た  
らたら、何とか大きな失敗もなく終  
えました。終了後、地区の育成会会  
長さんから、「よかつたー」の声、  
満足してもらえたという実感も得る  
ことができました。隊員ひとり一人  
反省と課題を感じるところもあつた  
と思いますが、これを土台とし、よ  
りわかりやすく、より楽しく伝えら  
れたらと思います。子どもたち、障  
がいのある方があたりまえに暮らし  
ていくことのできる地域社会になっ  
てほしいと願い、花笠ほーぷ隊、県  
内外へ発信（発信）して参ります。

以上、知的障がい者相談員等研修  
会は、1日目の参加が37人、2日目  
の参加が19人でした。

なお、宿泊者が6人と例年に比べ  
ても少ない状況でした。情報交換会  
も6人の参加でした。

年1回の宿泊による会員等交流の  
場です。互いの親交を深め、胸襟を  
開いてのお付き合いも大切です。日  
程を調整して宿泊も考慮していただ  
くよう願っているとところです。

山形市手をつなぐ育成会  
成人を祝う会

3人が祝福を受ける

1月9日(月)成人の日において、山形市手をつなぐ育成会では、「成人を祝う会」が山形国際ホテルを会場に行われました。

今年は、岩澤伸吾さん、瀬尾彩斗さん、菅原幹紀さんの3人が成人です。これからの健康とより良い生活をめざして新たな出発を期したいものです。

以下に、お母さん一人一人からのメッセージを掲載いたします。

ハタチに感謝

岩澤 伸吾さんへ  
母より

1月9日、育成会主催の成人を祝う会に出席しました。初めは緊張していた本人も、温かく祝ってくださる会員の方々のお陰で徐々に雰囲気にも慣れ、カラオケまで楽しむ事ができました。良い思い出となりました。ありがとうございます。

育成会に入会してまだ3年ですが、行事に参加して会員との交流は、本人は勿論、親にも意義のある貴重な時間だと思います。来年度は、手

をつなぐサロンに参加したいと思います。

さて、ハタチを迎えた息子ですが、今日まで沢山の支援をいただき感謝に堪えません。成長とともに変わる体と心の悩み、それと向き合



岩澤伸吾さん 金びょうぶを背に

ながら過ごした年月でした。

これからも、「ありがとう」の気持ち忘れずに健康を一番に一人の人間としてさらに成長してほしいと思います。

仲間といることが大好き

瀬尾 彩斗さんへ  
母より

山形市育成会成人を祝う会でお祝いしていただきありがとうございます。山形市成人祝賀式にも出席す

ることが出来ました。

初めての事が苦手でも、仲間と一緒に居る事が大好きな息子ですので、同窓の友人と二人で着席。式典の最後まで、〇×クイズに答え、他の皆さんと一緒に空間を楽しんでいました。後方で離れて見守る母は、ドキドキでした。参加した事で成人という意識も高まったように思います。幼稚園の頃、漫画の中で、「将来



瀬尾彩斗さん 金びょうぶを背に

の夢・働く大人になる」の一節があり、自分の事と重ねて思っていました。現在、夢工房に毎日通い、楽しく仕事に取り組む事が出来ています。まだまだ成長過程の事も在りますが、夢に向かって成長してくれた事嬉しく思います。

スペシャルオリンピックスで、陸上・スケートを楽しみ、沢山の出会いもありました。これからも、息子の楽しみある生活が出来るようにと思っています。

ぜんちの  
こども傷害保険

個人賠償 弁護士費用 ケガ入院・通院

- ◎ 個人賠償責任補償
- ◎ 権利擁護費用補償 (弁護士費用)
- ◎ ケガでの入通院保障



権利擁護補償付傷害保険 (2015年創設)

特別支援学級に通う児童・生徒のために開発された、障がい児のための専用保険です。知的障がいや発達障がいのある子どもたちを、事故や虐待被害などからお守りし、安心した学校生活を送っていただけます。

詳しい資料のご用命は、下記代理店をお願いいたします。

○取扱代理店

株式会社エフシーバンク

TEL 022-348-4481

〒981-3213 宮城県仙台市泉区南中山3-11-18

○引受保険会社

ぜんち共済株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目5番8号岩本町シティプラザビル5階

# いつだって前向き

菅原 幹紀さんへ

母 より

幹紀は我が家の末っ子です。これまで多くの皆さんに支えて貰い成人式を迎えることが出来ました。山形市の成人式より一足お先の10月2日、ゆきわり養護学校の同級生と一緒に山形病院で大勢の皆さんの祝福を受け盛大なお祝い会も開いて貰いました。

幹紀が生まれたのは20年前の8月。あれから色々なことがありました。子供は誰しも多くの人の支え無しでは大きくなれませんが幹紀は皆の何倍も助けて貰わなければ命を繋ぐことさえ出来ませんでした。でも家族は幹紀がいてくれたお蔭で素敵な方々と知り合うことが出来ました。幹紀、本当に有難う。

幹紀はいつだって前向きです。とにかく人が大好きで疑うこともいじ



菅原幹紀さん 風船とともに

けることも知りません。幹紀の世話を焼いているつもりが親のほうが何度も助けられていました。幹紀の成長はゆっくりですがいつの間にか親を支える存在です。支えて下さる皆様、有難うございます。これからも宜しくお願い致します。

## 平成29年度 主な行事

● 第29回山形県知的しょうがい者福祉大会 9月10日(日)  
尾花沢市・尾花沢文化体育館

● 第4回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会 9月23日(土)～24日(日) 北海道札幌市「ロイトン札幌」かでの2・7

● 平成29年度山形県知的障がい者スポーツ大会 10月4日(水) 天童市・山形県運動公園サブグラウンド

● 第57回手をつなぐ育成会東北ブロック大会 10月21日(土)～22日(日) 郡山市磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

● 第17回全国障害者スポーツ大会 10月28日(土)～30日(月) 愛媛県松山市「愛媛県総合運動公園陸上競技場」

総合運動公園陸上競技場

◆ 全国手をつなぐ育成会連合会交流誌「手をつなぐ」購入費改定のお知らせ(平成29年度以降)

◆ 年間購入費

● 県育成会を通しての購入の場合380円→390円

● 全国手をつなぐ育成会連合会への直接申込4千円→4100円

◆ いずれの場合も100円の値上げになりましたが、今後とも継続したご購読よろしくお願ひします。

◆ なお、新規購読も山形県手をつなぐ育成会までご連絡ください。

## 編集後記

2月7日息子の誕生ケーキを買いに行きながら38歳になった息子の事を思う。特に小さい頃は大変でした。今でも違う大変さはあるが……。昔は今みたいな支援はあまりなく、仲間といっしょに頑張った。育成会に入ったのもそんな思いからでした。いろんな支援はありますが、大人の障がい者が安心して暮らしていける社会になっているでしょうか。何か、かゆいところに手が届かず、周辺部をかかれていると感じるのは私だけでしょうか。

知的障害児者・自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度

# 生活サポート総合補償制度

※お申し込み・お問い合わせは・・・

山形県知的障害児者生活サポート協会  
推進担当



A I U損害保険(株)代理店(株)ジェイアイシー 南東北支店

〒980-8485 仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン18F

TEL:0120-294-747 FAX:022-264-0081

ホームページ: <http://www.jicgroup.co.jp>

◇編集委員【押切イツ子・武田満・山口由美子 事務局=黒木仁・古澤薫・八鍬三郎】